令和3年度スポーツ産業の成長促進事業「中央競技団体の経営力強化推進事業」
（戦略的普及・マーケティングの実施）

令和3年度委託事業成果報告書　（素案）
【概要版】

令和4年（2021年）3月
公益社団法人 日本トライアスロン連合

本報告書は、スポーツ庁の委託事業として、《公益社団法人日本トライアスロン連合》が実施した令和3年度スポーツ産業の成長促進事業「中央競技団体の経営力強化推進事業」（戦略的普及・マーケティングの実施）の成果を取りまとめたものです。
従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

NFマーケティングに取り組むべき重要性

NFマーケティング活動の目的

「する」「みる」「支える」人・団体（→顧客）を拡大（→普及）し、
収益の拡大（→マーケティング）を図ること。

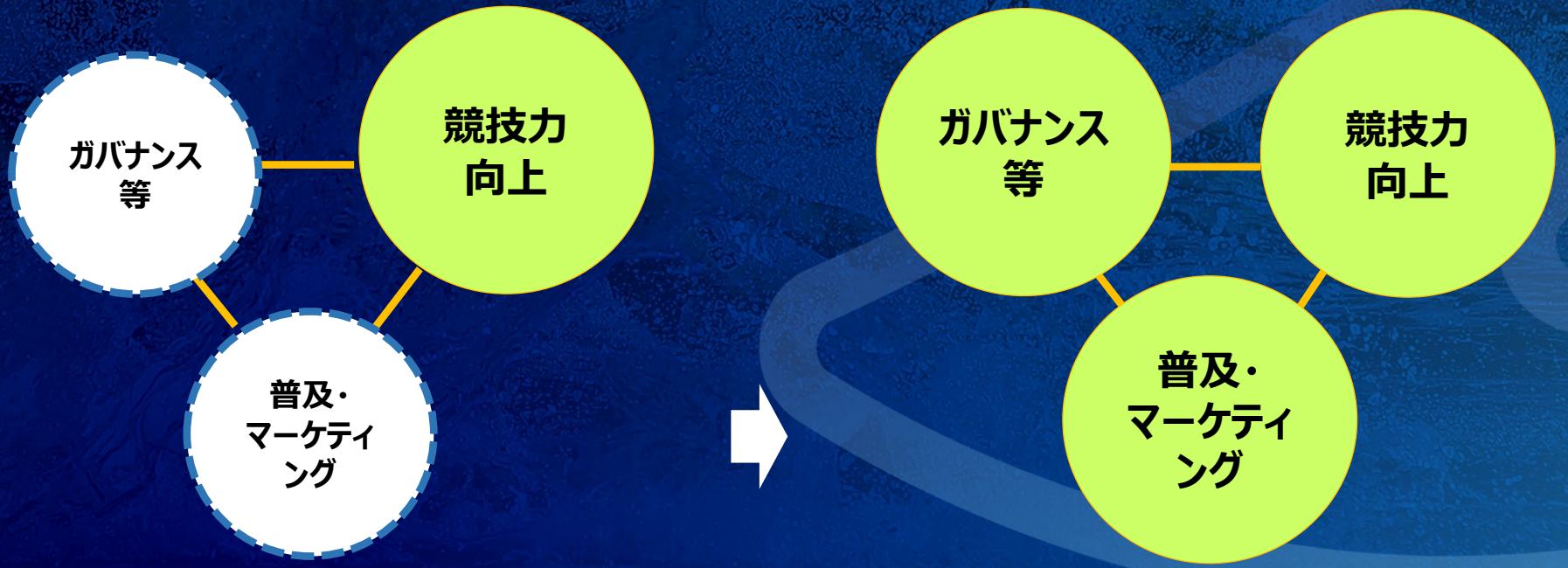
少子高齢化による人口減や趣味嗜好の多様化、2020オリパラ以降のスポンサー費や補助金減少など、外部環境が変化する中、NFが持続的に発展するためには、当該スポーツを「する」「みる」「支える」人・団体（＝顧客）を拡大する（→普及）とともに、収益の拡大（→マーケティング）を図り、より多くの人・団体が当該スポーツの価値を享受する社会の実現を図る事が重要。

また、従来の「する」「みる」「支える」に加えて、スポーツが持つ価値を「活用する」事により、NF自身又は社会課題の解決に貢献し、収益やブランド価値の向上を図ることができる。

NFマーケティングに取り組むべき重要性

競技団体が取り組むべきマーケティング活動の役割

競技力強化に偏重した組織運営を見直し、収益基盤の安定（普及・マーケティング）や組織のガバナンス強化に取り組むことが重要。



NFマーケティングに取り組むべき重要性

Triathlon

NTT×Triathlon Official Partners Program

成長～変化～そして進化

National Team

Road to Paris 2024 & Road to LA 2028

ナショナルチームプロジェクト

- オリンピック ナショナルチーム
- パラリンピック ナショナルチーム

Ranking

NTTJapanRanking/Age Championship Series

ランキングプロジェクト

- ジャパンランキング（特別協賛）
- エイジグループ ナショナルチャンピオンシップシリーズ（協賛）

Event

Sponsors Event

イベントプロジェクト

- NTTジャパンランキング 国内対象大会への協賛
- 日本選手権への協賛（日本選手権シリーズのうち年代別選手権）
- エイジランキング大会への協賛（地域コミュニケーション戦略）
- ＋
- タイミングパートナー（上記大会における公式記録パートナーとしての露出追加）

Athletes

Athletes Support / Career Support

選手支援 / キャリアサポート

- 個別選手支援
  - 佐藤優香選手
  - 北條巧選手
  - ニナー賢治選手
  - 宇田秀生選手
- 活動支援（田山コメンテーター）

自然環境の保全 / 共生社会の実現 / 健康寿命の延伸 / こども達にスポーツを / 女性参加者の増進 / 国際交流

Triathlon SDGs（トライアスロンによる社会貢献プログラム・2022年の6つのテーマ）

メディアプログラム（WEB/SNSの積極的活用）＊オウンドメディアの活用プライオリティを高める

トライアスロンDX（デジタルプラットフォーム）

実施全体概要

Triathlon

事業趣旨・目的

IT技術等を活用した「トライアスロン＝健康スポーツ計画」の推進

・社会課題であるスポーツを通じた健康増進について、中央競技団体として競技団体が持つ権利と会員基盤DBとITU技術・他産業サービスを掛け合わし健康スポーツを切り口としたサービスを展開し、競技者の満足度の向上、競技者数の拡大を図り、「トライアスロンの健康スポーツ」として立ち位置の確立させる。
・本事業での支援も受け、NF自らが保有する権利・資産をNF自身で戦略的に活用し、自立した経営を推進することで、競技団体の成功事例としてのロールモデルとなること目指す。

ミッション・ビジョン・中長期戦略

<Mission> 使命（＝目的） トライアスロン競技の更なる強化・普及を図り、健全な心身の発達に努め、競技団体としての社会的地位向上を図る

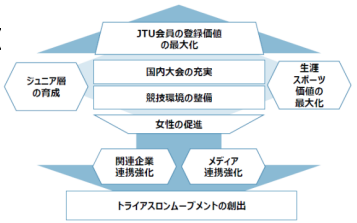
<Vision> 役割 （＝目標） **[組織]** スポーツ界をリードする信頼されるグローバルな組織の確立（トライアスロンの社会的価値創出、安全・安心な競技環境整備）
[強化] 継続性のあるアスリートの育成強化（オリパラでのメダル獲得、トップレベルの選手・指導者の強化、育成システム確立）
[普及] 社会に調和と融合するトライアスロンの普及活動の推進（会員登録数、競技愛好者数、国内大会数の増加）

<Activity> 活動（＝手段）

・JTU会員登録価値の最大化
・国内大会の充実
・関連企業・メディア連携強化
・生涯スポーツとしての価値の最大化
・競技環境の整備
・トライアスロンムーブメントの創出

Visionの中の具体的な目標
「555計画」（普及のみ数値目標設定）
①会員登録数の増加：5万人（2019年：3万人）
②競技愛好者数：50万人（2019年：37.5万人）
③国内大会数：500大会（2019年：290大会）

＊図：Activity 活動

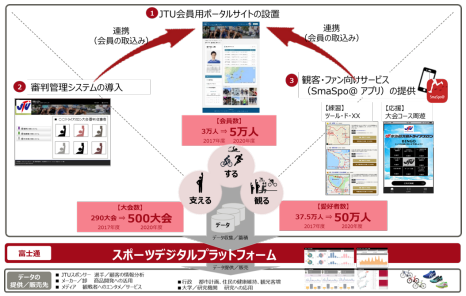


【戦略・実行計画策定】
目標達成（現状とのギャップを埋める）に向け、会員登録や大会参加価値を高める施策を推進。

上記を推進するために「トライアスロン＝健康スポーツ計画」を掲げ本事業の実施を推進していく。

アクションプラン

1）デジタルプラットフォームの構築



2019年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ団体経営力強化推進事業」対象事業（実施内容＊機能の要件定義）

JTU会員登録の価値最大化 及び トライアスロンムーブメントの創出に向けて、JTU会員向け「マイページ」を充実させ、JTU会員の満足度向上、大会参加数増加につなげる。

2）SNSサービスの拡充

登録会員や関係者とのコミュニケーションツールとして動画を用いたサービスの展開を推進するため、専門チームを立ち上げ、動画サービスの収益化を図る。

3）「健康スポーツ＝トライアスロン」 リアル×バーチャル サービスの推進

バーチャルバイクアプリを活用したトレーニングサービス、オンライントレーニングサポートサービス、Iot端末・ウェアラブル端末を活用した大会運営サービスなど、健康を機軸にリアルとバーチャルを融合したサービスを展開する。

トライアスロンデジタルプラットフォームの構築の推進

事業趣旨・目的

2019-2020年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ団体経営力強化推進事業」中央競技団体による普及・マーケティングに係るモデル形成支援事業において要件定義を実施。要件定義内容を軸に、本事業において構築の推進を行う。現在分散管理されている、選手の大会エントリー情報やリザルト・練習記録・写真などの情報を集約。選手の活動データをプラットフォーム上に一元管理・ビックデータ化をすることで、選手に対するサービス向上だけでなく、安心安全な大会運営に役立てるほか、将来的には関連企業や団体へデータを提供し、新サービス・商品の開発や販売促進に活用を行う。

実施内容と体制

・2020年度に実施の要件定義を軸に「マイポータル」サービスのデモ機能を軸に、2021年度はリザルト表示機能・お知らせ機能の構築と会員システムの連携を行う。

■実施体制イメージ

公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）・役割：全体進行管理

富士通株式会社
・役割：マイポータルシステム開発
・実施事項：画面設計およびデザイン制作と
WEBアプリケーションデモページの実装
・実施内容
2020年にデモページの実装に向けた画面デザインを基にWeb画面の設計およびデザイン制作を実施。作成したデザインをWEBアプリ化しテスト環境に公開し、β版をリリース。

成果と課題

・成果物：ポータルサイトフェーズ1（リザルト表示機能とお知らせ機能）のβ版（本番環境）のリリース。過去5年分のエイジランキング大会リザルト掲載
・課題　：・2021年度中に本番環境リリースを実施も。会員の利用実態評価まで実施を行うことができなかった。B版リリースと合わせて、UIの改善をのPDCAサイクルを回し、機能のサービス拡充を行う。

トライアスロンデジタルプラットフォームの構築の推進

Triathlon

全体イメージ

① JTU会員用ポータルサイトの設置

連携
（会員の取込み）

連携
（会員の取込み）

【会員数】
3万人 ⇒ **5万人**
2017年度　2020年度

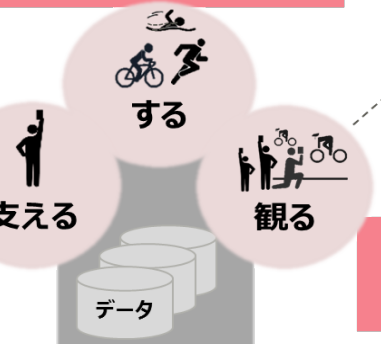
② 審判管理システムの導入

③ 観客・ファン向けサービス（SmaSpo@ アプリ）の提供

SmaSpo@

【練習】
ツール・ド・XX

【応援】
大会コース周遊



【大会数】
290大会 ⇒ **500大会**
2017年度　2020年度

【愛好者数】
37.5万人 ⇒ **50万人**
2017年度　2020年度

データ収集／蓄積

スポーツデジタルプラットフォーム

データ提供／販売

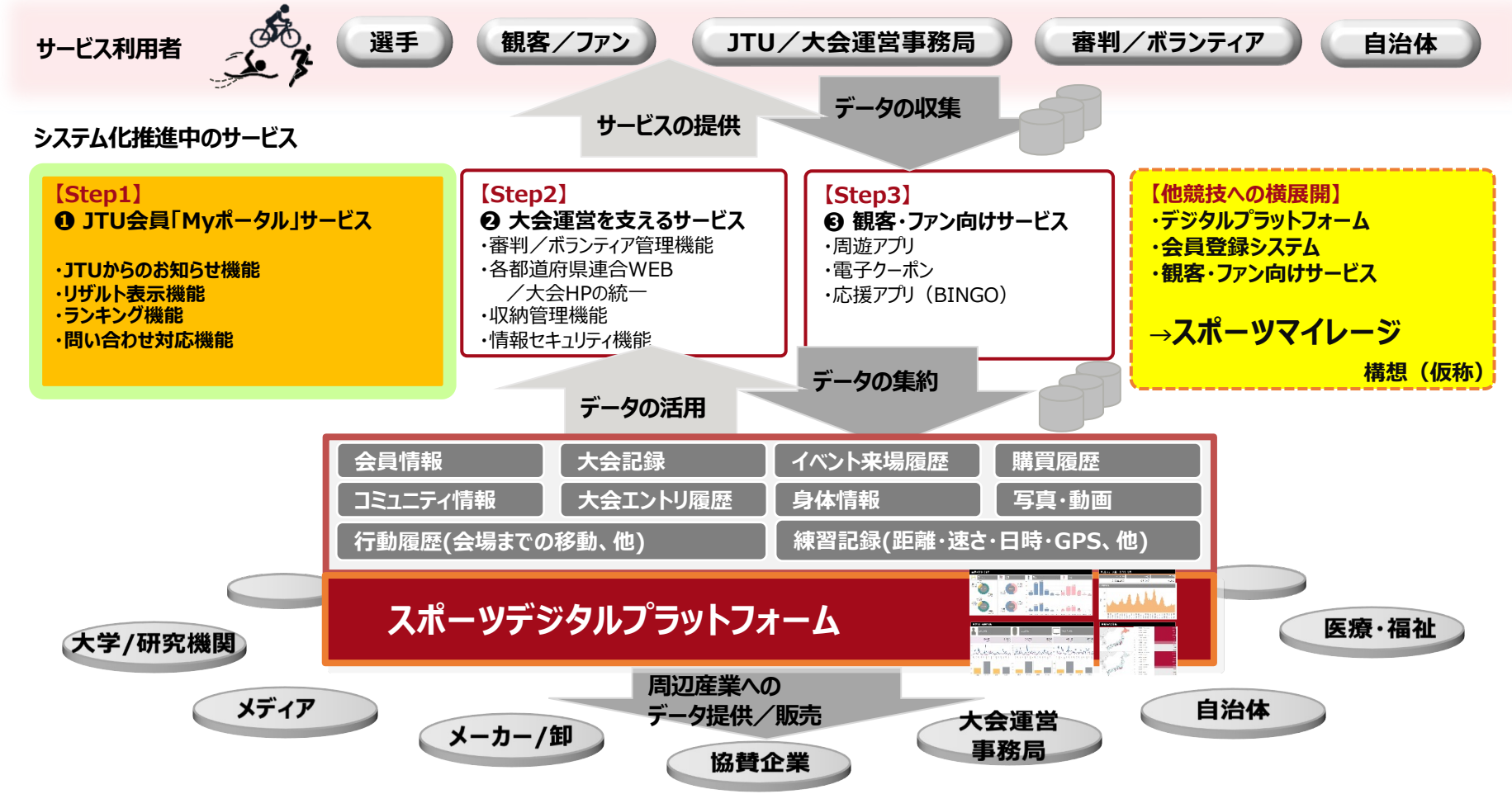
データの提供／販売先

- JTUスポンサー　選手／顧客の情報分析
- メーカー／卸　商品開発への活用
- メディア　観戦者へのエンタメ／サービス
- 行政　都市計画、住民の健康維持、観光客増
- 大学／研究機関　研究への応用

トライアスロンデジタルプラットフォームの構築の推進

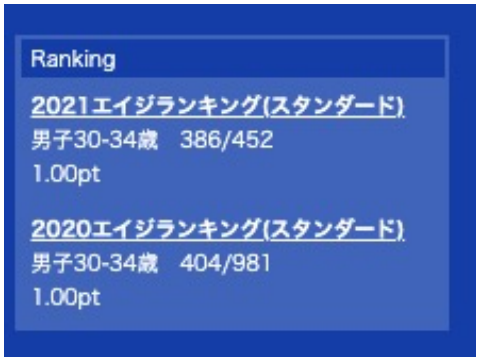
全体イメージ

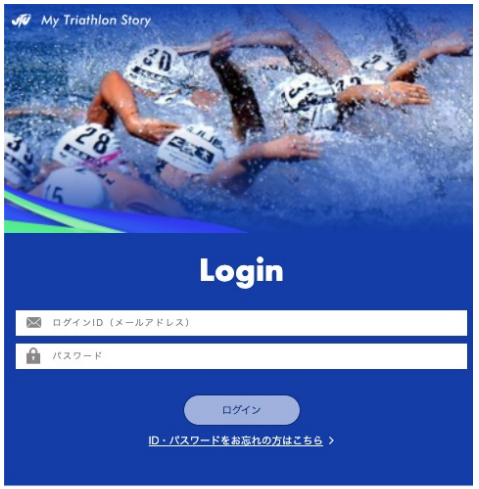
JTU会員登録の価値最大化 及び トライアスロンムーブメントの創出に向けて、JTU会員向け「MYポータル」を充実させ、JTU会員の**満足度向上**、**大会参加数増加**につなげる。



トライアスロンデジタルプラットフォームの構築の推進

トライアスロンデジタルプラットフォームの構築推進(各画面イメージ／インフラ構成)





2019/07/14

太平洋トライアスロンinいわき

大会概要

開催日	2019/07/14
大会名	太平洋トライアスロンinいわき
開催地	福島県(いわき市)
競技名	トライアスロン
Swim	1.5km
Bike	40km
Run	10km

記録

氏名	児玉 健太
性別	男
年齢	33
登録地	東京都
総合順位	174位
総合記録	3:26:29
スイムラップ	0:34:34

2）ソーシャルメディア関連サービスによる情報発信の拡充と推進

事業趣旨・目的

競技団体が保有するコンテンツ（権利・資産）を活用したコミュニケーション手法が、収益化（広告効果）、情報の伝達力などの観点から非常に重要となる。動画を含むコンテンツの管理運用の内制化の推進を行い、自社メディアとしての動画活用の推進を図る。2021年度は前年度実施した、コロナ禍でのコンテンツ事例調査をベースに、新様式での生活様式に応じたコンテンツ配信、パートナー企業など関連ステークホルダーのアクティビティの開発を軸に、コンテンツの配信を行った。

実施内容

1）マーケティング事業局を中心とした、プロジェクト推進チームの立ち上げ

■実施内容

■新型コロナ コンテンツ事例調査

→Withコロナの環境下の中、スポーツ関連の各種コンテンツ調査を実施

■動画チャンネルの拡充を推進

→「する」「みる」「ささえる」をベースとしたコンテンツの拡充を図り、特設ウェブコンテンツ・サイトを設置。情報掲載を行った。

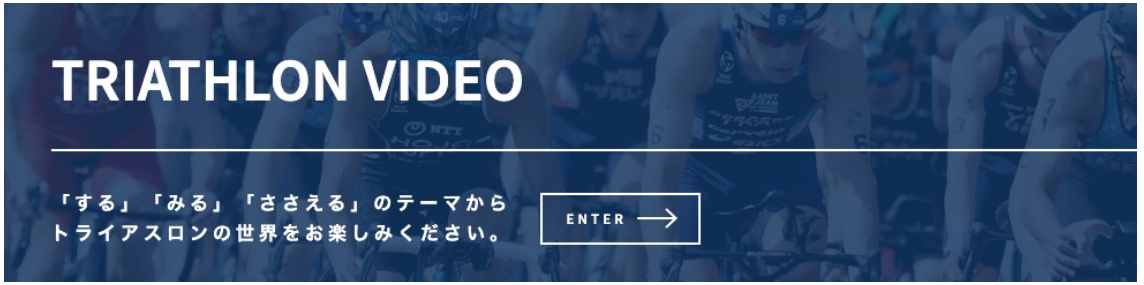
成果と課題

前年度、Withコロナの環境下の中、各スポーツのコロナ渦中におけるコンテンツ事例の調査分析を実施。調査結果をベースに。競技団体のもつ権利・資産の中でどの様な打ち手が効果的であるかの検証を行い、事務局内に設置したマーケティング事業局を中心に、SNSおよびPJ推進のアシスタントディレクターを配置し、コンテンツの制作と配信を行なった。

2）ソーシャルメディア関連サービスによる情報発信の拡充と推進

Triathlon

新様式に応じたコンテンツ事例調査



・新様式に応じたコンテンツ事例調査を実施し、コロナ渦でのアクティベーションについて、ニールセンスポーツと連携の上、研究を進めた。新生活様式に応じ「今、トライアスロンが出来ることを」をキャッチコピーに社会貢献事業としてトップパートナーのNTT東日本・NTT西日本と連携を行い、都道府県加盟団体を中心に実施される事業の支援プログラムを実施。各種コンテンツの開発・推進に務めることができた。

2）ソーシャルメディア関連サービスによる情報発信の拡充と推進

Triathlon

SNSレポート／Twitter

※実績参照：Twitterアナリティクス
※年間最大値＝赤字表記

2020実績

Twitter	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ツイート数	118	149	169	162	154	142	146	162	242	275	252	204
インプレッション	452,172	845,383	641,867	611,529	567,094	583,360	638,166	513,652	668,375	909,249	98,4143	651,713
プロフへのアクセス	3,733	6,570	5,925	6,576	5,033	4,704	4,110	3,930	6,465	17,201	14,506	8,414
@ツイート	12	13	21	10	9	23	19	29	26	14	16	16
フォロワー(新)	5,248 (71)	5,319 (67)	5,386 (44)	5,430 (56)	5,486 (66)	5,552 (46)	5,598 (21)	5,619 (36)	5,655 (47)	5,702 (105)	5,807 (48)	5,855 (8)

ツイート数平均：181.3 /月、フォロワー増加数：645（12.4%増）
大会開催のあった2月と再開した10月に多くインプレッションを獲得。10月は平均月の2倍以上のフォロワー増、アクセス数最大。インプレッションは11月が最高。フォロワー増加数は昨年度から比較して－43%。ただ、テストイベント開催都市との比較は難しいといえる。

2021実績

Twitter	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ツイート数	193	183	232	238	273	223	190	232	218	200	188	193
インプレッション	628,703	581,758	648,618	855,950	1,074,333	814,343	830,974	1,340,616	804,155	588,537	503,279	477,058
プロフへのアクセス	7,847	6,730	9,866	18,178	36,305	30,566	43,498	44,410	31,820	33,978	29,593	22,735
@ツイート	7	5	10	55	82	19	92	142	40	27	35	15
フォロワー(新)	5,901 (46)	5,945 (44)	5,958 (13)	6,038 (80)	6,113 (75)	6,178 (65)	6,454 (138)	6,541 (87)	6,642 (101)	6,692 (50)	6,707 (15)	6,731 (24)

ツイート数平均：213.6 /月、フォロワー増加数：738（14.9%増）
東京2020オリンピック・パラリンピック開催において、2016年リオ大会でツイッターを開設して以来のインプレッション最高値を8月に記録。また、アジア選手権に続き、Tokyo2020クオリフィケーションランキング期間の重要な国際大会（横浜他）のあった5月にこれまでにない高い数値を獲得できた。自国開催のオリパラ効果もあり、全ての数値において大きく伸びた1年となった。

2）ソーシャルメディア関連サービスによる情報発信の拡充と推進

Triathlon

SNSレポート／FaceBook

※実績参照：Face Bookインサイト

2020年：実績概要

※年間最大値＝赤字表記

FB	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
フォロワー（新）	14,394 (40)	14,423 (29)	14,442 (19)	14,577 (135)	14,615 (38)	14,664 (49)	14,679 (15)	14,684 (5)	14,702 (18)	14,752 (50)	14,798 (46)	14,821 (23)
リアクション	14,099	14,123	14,127	14,227	14,245	14,277	14,279	14,278	14,289	14,312	14,343	14,348
リーチ数 月最高	9,716 1/12	10,395 2/27	12,309 3/14	33,172 4/17	8,862 5/25	9,050 6/7	8,405 7/29	7,004 8/22	5,980 9/1	7,879 10/10	8,545 11/7	6,637 12/12
投稿数（平均/日）	64 (2,1)	77 (2,7)	82 (2,6)	74 (2,5)	66 (2,1)	58 (1,9)	68 (2,2)	79 (2,5)	86 (2,9)	124 (4)	112 (3,7)	95 (3,1)

フォロワー増加数：467 /年（3.3%増）
大会開催機会が激減し、ライブ投稿がなかったことで、昨年よりも記事の作成や情報収集に力を入れて取り組む必要がある年となった。
最大リーチ数を得た投稿は、JISS発信「屋外でのランニング時に気をつけるべきソーシャルディスタンス」に関する紹介の投稿削除案内について。
大会が開催された2月、COVID-19関連で休止宣言が出るまでの期間の記事に注目度が高まった。大会開催数が少なかったにもかかわらず、前年に劣らないリーチ数の高い投稿が出来た。一方で、フォロワー数の伸びは停滞。フォロワー増加数は昨年度から比較して－42%で、動きは鈍かった。

2021年：実績概要

FB	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
フォロワー（新/純）	15,063 (27/-5)	15,067 (34/-4)	15,073 (37/-6)	15,113 (64/-40)	15,143 (53/-23)	15,146 (36/-33)	15,155 (37/-28)	15,172 (53/-36)	15,180 (41/-33)	15,173 (20/-27)	15,171 (24/-26)	15,175 (20/-16)
エンゲージメント	20,095	14,996	16,803	35,329	36,763	31,579	29,264	40,388	27,899	18,980	16,137	16,346
リーチ数 月最高	6,394 1/6	5,793 2/4	5,282 3/1	40,862 4/11	41,267 5/13	34,388 6/22	39,408 7/23	53,526 8/28	38,805 9/1	22,039 10/18	27,781 11/7	24,616 12/8
投稿数（平均/日）	103 (3,3)	113 (4)	115 (3,7)	113 (3,8)	109 (3.5)	99 (3.3)	98 (3.2)	110 (3.5)	101 (3.4)	98 (3.2)	96 (3.2)	100 (3.2)

フォロワー増加数：354 /年（2.3%増）
前年よりも普及イベント開催数は増えたが、実際の大会においてはコロナ禍前同様の開催数の実施はできなかった。＝大会開催関連投稿の減少。東京2020オリンピック・パラリンピックの開催により、NFからの発信に制限があったものの、8月9月にはフォロワー数がピークに達し、特にオリンピック期間はエンゲージメントとリーチ数が最高値を記録した。※実績値は2022年4月11日現在。前年度と比較指標が異なる。

3）「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャル サービスの推進

イベントの目的・KPI

■目的
新型コロナウイルス感染症の影響による相次ぐトライアスロン大会の中止を受け、トライアスリートのパフォーマンスを発揮できる場の創出を目指し、コロナ禍における新たな大会、イベントの在り方の検証を行う。

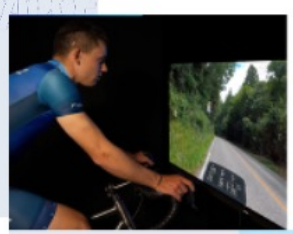
開催中止となった『村上・笹川流れ国際トライアスロン大会』のバイクコースを、バーチャルサイクリングアプリとスマートトレーナーを使用し、屋内で走行、順位を競うイベントを実施する。

■KPI
・バーチャルサイクリングイベントの継続的実施の可能性を多角的視点で検証する。
・イベント参加者100名を目指す。

3）「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャル サービスの推進

イベント特設ウェブサイト

トライアスロンへの熱い想いをメッセージとし、参加者の使いやすさを
重視したイベント特設ウェブサイトを開設。



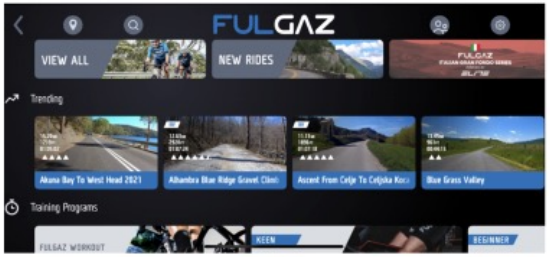
現在のランキングを掲載。参加者の競争心を掻き立てる。何度でも挑戦できるのはバーチャルイベントの魅力の一つ。

想定されるＱ＆Ａを掲載。イベント期間中の問合せは1件のみ。(ご案内メールが参加者のメール受信制限により未受信)

3）「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャル サービスの推進

イベントの様子

FulGazアプリをiPad等のデバイスにダウンロードし、スマートトレーナーと
Bluetoothで接続したら、スタート！



FulGazアプリを起動し、村上コースを選定

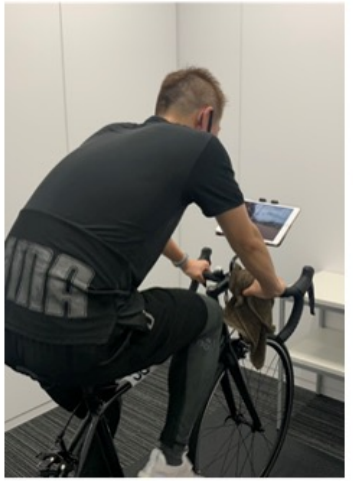
記録を登録

いざスタート！

完走！！！

美しい海岸沿いの景色を楽しみながら走行

ゴールゲートをくぐり・・・



参加者の声：
・想像以上にきつかったが、楽しみながら、走行できた。
・またトライアスロン頑張ろうと思わせてくれるような
　レースだった。

3）「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャル サービスの推進

メディア・SNS

JIJI.COM　新着記事　連載　特集　写真・動画　ランキング

トップ　政治　国際　社会　経済　スポーツ　エンタメ

時事ドットコムニュース ＞ PR TIMES ＞ トライアスロンの灯を消さない！日本トライアスロン連合初のバー…

トライアスロンの灯を消さない！日本トライアスロン連合初のバーチャルサイクリングイベントを開催サポート！

トップ ＞ ニュース ＞ イベント ＞
村上・笹川流れ国際トライアスロン大会 バーチャルサイクリングイベント開催 ワイ・インターナショナルがサポート

村上・笹川流れ国際トライアスロン大会 バーチャルサイクリングイベント開催 ワイ・インターナショナルがサポート

2021.10.08 イベント

#トライアスロン #バーチャルレース

2021年10月10日（日）から2021年10月31日（日）まで、「村上・笹川流れ国際トライアスロン大会 バーチャルサイクリングイベント」が開催される。これは日本トライアスロン連合（JTU）として初となるトライアイスロンのバーチャルイベントだ。2021年9月26日（日）に予定されていた「村上・笹川流れ国際トライアスロン大会」は新型コロナウイルスの影響で中止になったが、開催を望む声が全国から寄せられたことをきっかけとして行われる。

【10/10-31】村上・笹流れ国際トライアスロン「バーチャルイベント開催」

トライアスロンの灯を消さない！日本トライアスロン連合初のバーチャルサイクリングイベントを開催サポート！

2021年9月30日 15:45 PRTIMES

1ページ目から読む

本来走行予定であった村上・笹川流れの美しいバイクコースを可能な限り再現しているため、本バーチャルサイクリングイベントに参加のアスリートは、リアル感覚でチャレンジすることができ、また、来年の開催に備え練習することもできます。

以下はイベントの概要になります。

Instagram

平良（たいら） エレア
ミスユニバース沖縄代表(2017年)
フィットネスモデルとして活動するかたわら、マラソンやトライアスロンにも積極的に参加